

福井県電子調達システム
パソコン環境設定マニュアル

—新方式受注者編—

【Windows10／8.1】

令和2年6月

はじめに

本書では、福井県電子入札システムの利用を目的としたパソコンの設定内容と設定手順例を説明したものです。パソコンは、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク条件を全て満たし、民間認証局から購入するICカード及び、リーダ装置のセットアップが完了したパソコンを前提に記載しております。

パソコンの新規導入、入れ替え等により、該当パソコンに初めて電子入札システムの利用環境設定する場合に加え、電子入札システムの利用環境設定の後、正常に動作しなくなった場合に、本書で説明する各種設定項目に沿って設定変更する、又は、設定に変更が加えられていないかどうかの確認にご使用ください。

補足

設定項目毎に【必須】／【推奨】／【参考】と記載しています。

【必須】 必ず設定を確認，変更等実施ください。

【推奨】 本書記載の設定を強くお勧めします。

【参考】 必要に応じて任意に設定変更します

目 次

1. 【必須】電子入札システムを利用できる端末（パソコン）条件	4
2. 【必須】認証局提供セットアップツールによる設定	4
3. Internet Explorer11(IE11)の設定	5
(1) 「インターネットオプション」メニューの開き方	5
【参考】Windows10 における Internet Explorer の起動方法	5
(2) インターネットオプション【全般】での設定	6
① 【推奨】「終了時に閲覧の履歴を削除する」設定	6
② 【推奨】閲覧の履歴「削除」「設定」	7
(3) 【必須】インターネットオプション【セキュリティ】での設定	8
① 信頼済みサイトへの登録画面表示	8
② 信頼済みサイトの登録	9
(4) 【必須】信頼済みサイトのセキュリティレベルの設定	10
① セキュリティ設定画面表示	10
(5) インターネットオプション【詳細設定】での設定	11
① 【必須】「詳細設定」内の設定変更必須項目	11
② 【推奨】「詳細設定」内の設定変更推奨項目	11
4. Windows の設定	12
(1) 【参考】IME の設定	12

1. 【必須】電子入札システムを利用できる端末（パソコン）条件

パソコンは、福井県庁ホームページ掲載の仕様を最低限満足するパソコンをご用意ください。

パソコン仕様掲載ページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kanri/ebid-pc.html>

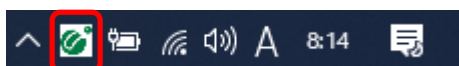
2. 【必須】認証局提供セットアップツールによる設定

認証局から提供される設定ツールを入手し、自身のパソコンにインストール、設定を行います。

認証局から提供される設定ツールは、各認証局のホームページ等を参照し、Java (JRE) を使用しない電子入札システム新方式に対応したものであることを確認下さい。

新方式に対応した設定ツールでは、ご使用のパソコンのタスクバー（画面の右下）に  アイコンが表示されます。

【以下タスクバーの表示例】



 をクリックし隠れているアイコンを表示した例

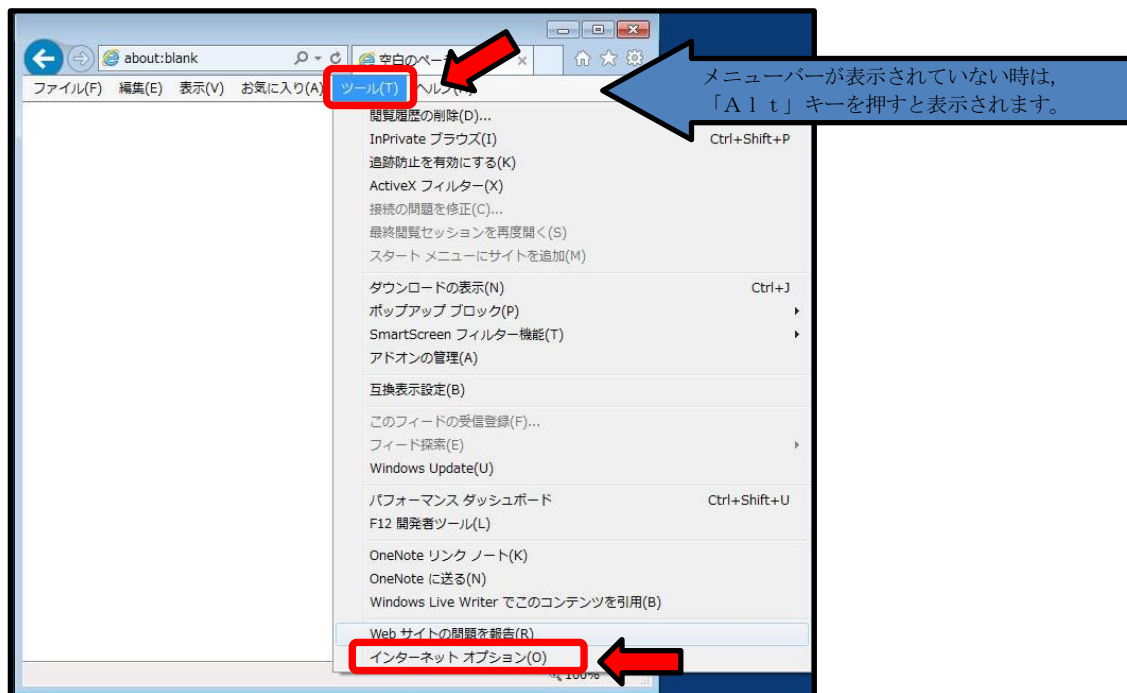
【注意】

認証局提供のセットアップツールを実行する時、対象のパソコンへのログオンユーザ名は、半角英数字のみとしてください。

3. Internet Explorer11(IE11)の設定

(1) 「インターネットオプション」メニューの開き方

「インターネットオプション」は、Internet Explorer(以降、I Eと略します。)を起動し、メニューバー内にある「ツール」をクリックして表示されるメニュー内から起動します。



【参考】 Windows10 における Internet Explorer の起動方法

Windows 10では、2種類のブラウザ（「Internet Explorer」と「Edge(エッジ)」）が搭載されていますが、電子入札システムは、**Internet Explorerでのみ動作**します。Internet Explorerの起動方法（一例）を以下に記載します。



スタートボタン $\square$ をクリックし、「すべてのアプリ」をクリックします。
スクロールして「Windows アクセサリ」をクリックし、その下の「Internet Explorer」をクリックして起動します。

【参考】 Windows8.1 の場合

画面左下の e アイコンをクリックし起動します。



(2) インターネットオプション【全般】での設定

① 【推奨】「終了時に閲覧の履歴を削除する」設定

「終了時に閲覧の履歴を削除」にチェックを設定します。

インターネット オプション

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定

ホーム ページ

複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて入力してください(R)

現在のページを使用(C) 標準設定(F) 新しいタブの使用(U)

スタートアップ

☐ 前回のセッションのタブから開始する(B)
☒ ホーム ページから開始する(H)

タブ

タブの中の Web ページの表示方法を設定します。 タブ(T)

閲覧の履歴

一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情報を削除します。

☒ 終了時に閲覧の履歴を削除する(W)

削除(D)... 設定(S)

デザイン

色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E)

OK キャンセル 適用(A)

①チェックを入れます

②「適用」をクリックします

② 【推奨】閲覧の履歴「削除」「設定」

閲覧の履歴の「削除」をクリックし、削除項目を設定します。

次に、「設定」をクリックし保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認を「Web サイトを表示するたびに確認する」とします。

閲覧の履歴

一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォームの情報を削除します。

☒ 終了時に閲覧の履歴を削除する(W) ① ⑤

削除(D)... 設定(S)

閲覧の履歴の削除

☐ お気に入り Web サイトデータを保持する(R)
お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。

☒ インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル(T)
情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアのコピーです。

☒ クッキーと Web サイトデータ(O) ③
基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトによってコンピュータに格納されたファイルまたはデータベースです。

☒ 履歴(H)
閲覧した Web サイトの一覧です。

☒ ダウンロードの履歴(W)
ダウンロードしたファイルの一覧です。

☒ フォーム データ(F)
フォームに入力した情報を保存したものです。

☒ パスワード(P)
以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、パスワード情報を格納したファイルです。

☒ 追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K)
フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキング拒否要求に対する例外です。

閲覧の履歴の削除についての詳細 ④

削除(D) キャンセル

適宜設定

Web サイトデータの設定

インターネット一時ファイル 履歴 キャッシュおよびデータベース

Internet Explorer は、閲覧しているページを次回もっと早く表示できるように Web ページ、画像、およびメディアのコピーを保存します。

保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認:

☒ Web サイトを表示するたびに確認する(E) ⑥

☐ Internet Explorer を開始するたびに確認する(S)

☐ 自動的に確認する(A)

☐ 確認しない(N)

使用するディスク領域 (8 - 1024MB)(D)
(推奨: 50 - 250MB) 330

現在の場所:
C:\Users\kyama\AppData\Local\Microsoft\Windows\NetCache\

フォルダーの移動(M)... オブジェクトの表示(O) ファイルの表示(V)

⑦ OK キャンセル

⑥「Web サイトを表示するたびに確認する」とします。

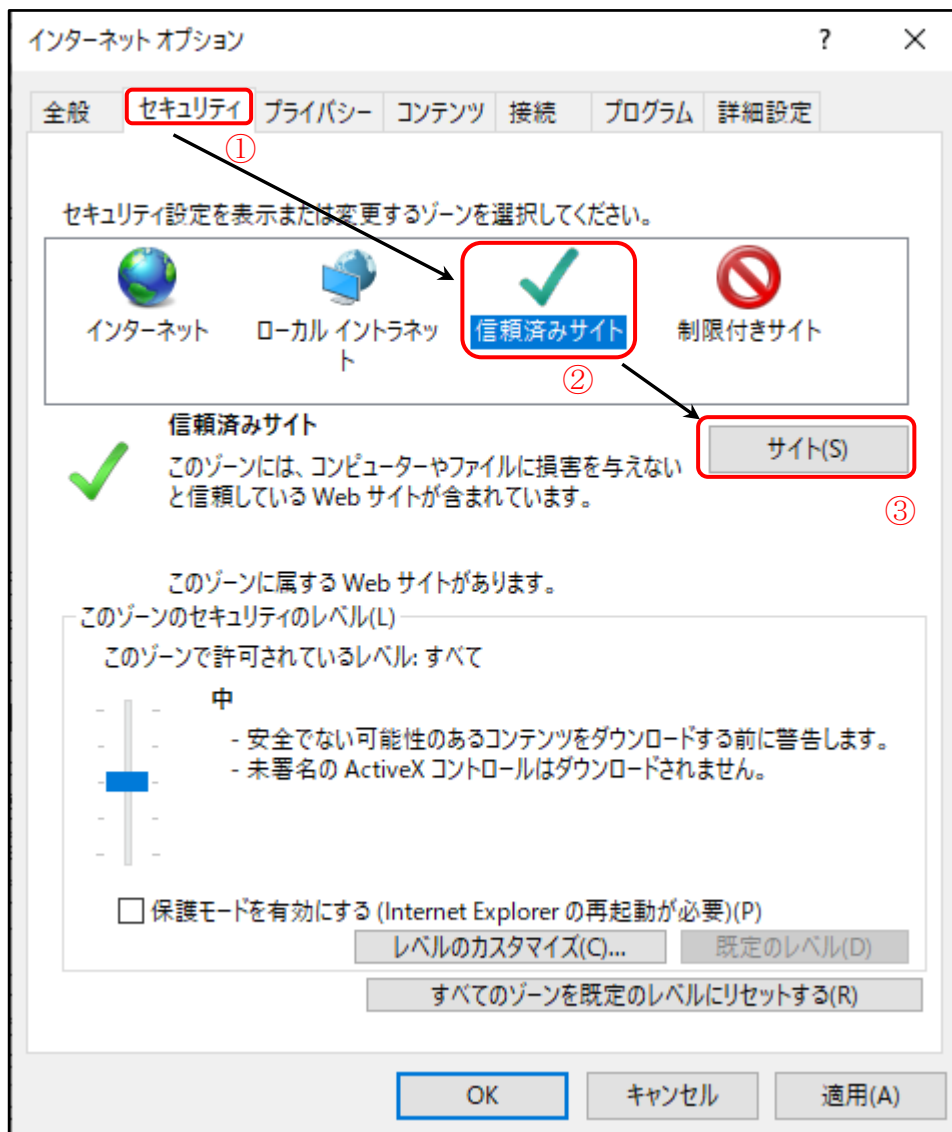
②「お気に入り Web サイトデータを保持する」のチェックを外します。

③「インターネット一時ファイル及び Web サイトのファイル」「クッキーと Web サイトデータ」のチェックを付けます。

(3) 【必須】インターネットオプション【セキュリティ】での設定

① 信頼済みサイトへの登録画面表示

「セキュリティ」→「信頼済みサイト」→「サイト」の順にクリック選択し、信頼済みサイト登録画面を表示します。



② 信頼済みサイトの登録

下図の信頼済みサイト登録画面が表示されたら、Webサイトを登録します。

下図のとおり、2つの Web サイトを順に登録し、最後に「閉じる」をクリックし完了します。

登録するWebサイトは、以下の2つです。

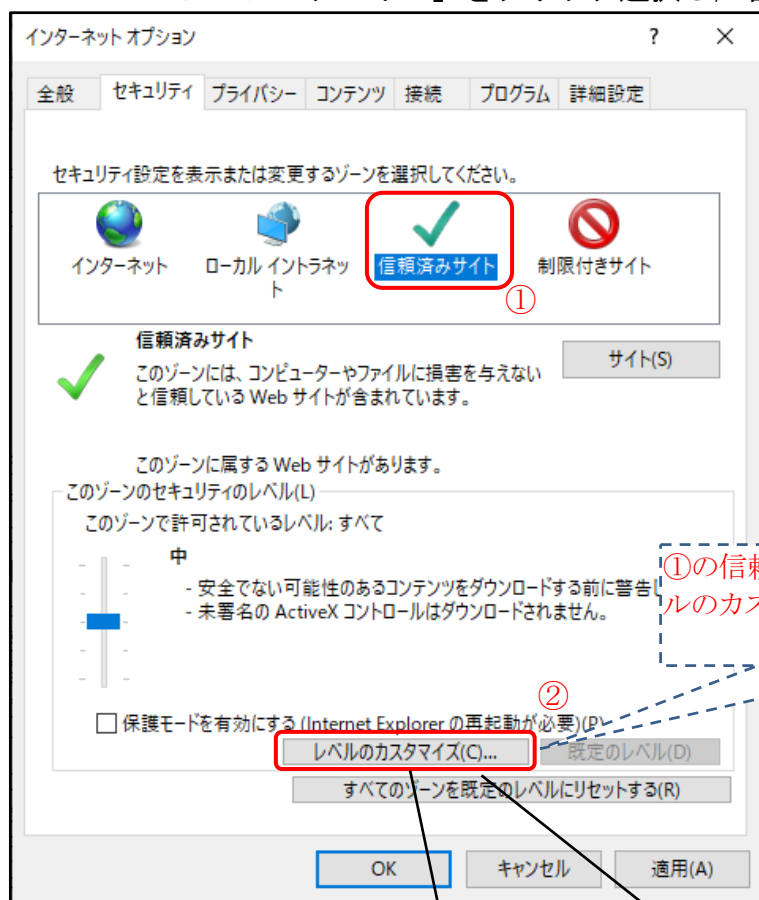
<https://www.ebid.pref.fukui.jp>

<https://www2.ebid.pref.fukui.jp>

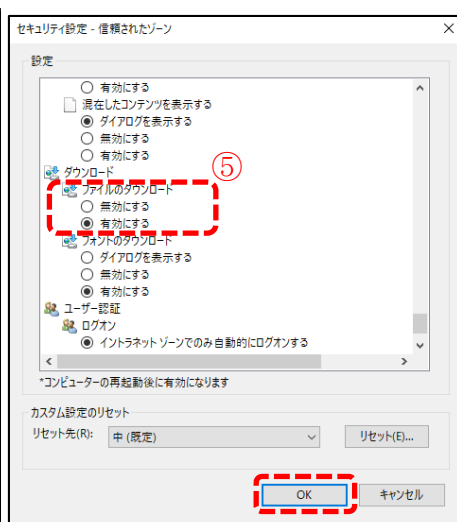
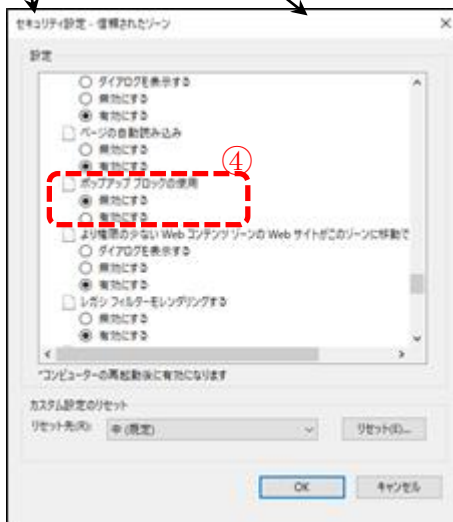
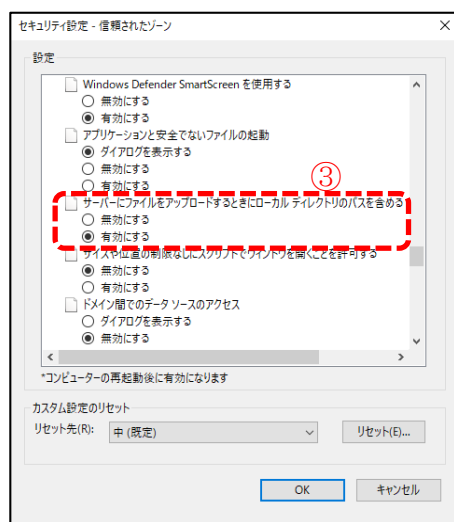
(4) 【必須】信頼済みサイトのセキュリティレベルの設定

① セキュリティ設定画面表示

「レベルのカスタマイズ」をクリック選択し、各種設定項目を見直します。



①の信頼済みサイト選択された状態で②「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



③、⑤の設定を「有効にする」、④の設定を「無効にする」が選択されていることを確認し、それぞれ上記の選択設定のとおり切り替え、「OK」をクリックし確定します。

③「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」

<有効にする>

④「ポップアップ ブロックの使用」

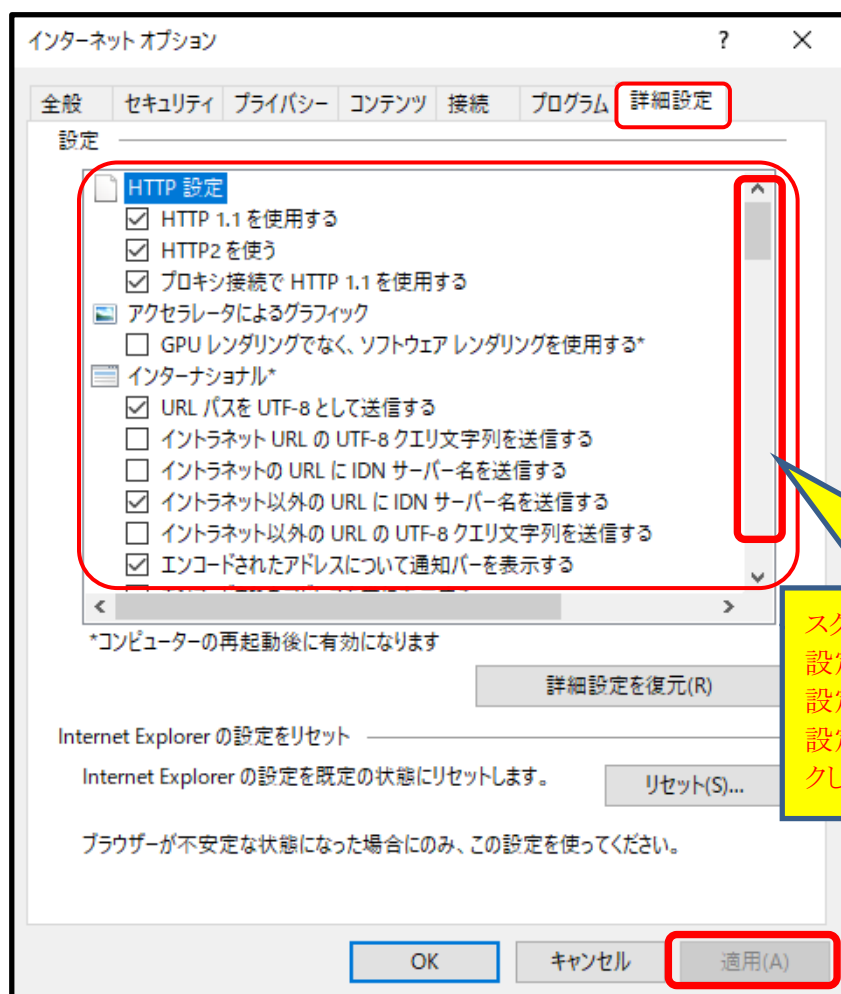
<無効にする>

⑤「ファイルのダウンロード」

<有効にする>

(5) インターネットオプション【詳細設定】での設定

インターネットオプションメニュー内の「詳細設定」タブをクリックし、表示される各種項目の設定状況確認と適宜変更を行います。



スクロールバーを上下に移動し、設定項目のチェック付き/外しを行います。設定項目は、図下を参照してください。設定変更操作が完了したら、「適用」をクリックします。

① 【必須】「詳細設定」内の設定変更必須項目

詳細設定に以下の項目があります。通常は既に以下の設定となっていますが、異なる場合は、設定を変更してください。

- ① 「URL パスを UTF-8 として送信する」 → ☒ チェックを付ける
- ② 「暗号化されたページをディスクに保存しない」 → ☐ チェックを外す
- ③ 「拡張保護モードを有効にする」 (64bitOS の時) → ☐ チェックを外す

② 【推奨】「詳細設定」内の設定変更推奨項目

詳細設定の以下項目変更は、推奨設定です。

- ① 「ブラウザを閉じた時[Temporary Internet Files]フォルダーを空にする」 → ☒ チェックを付ける
- ② 「サードパーティ製ブラウザ拡張を有効にする」 → ☐ チェックを外す ※注

※注) 「サードパーティ製ブラウザ拡張を有効にする」のチェックを外した場合、Yahoo, Google 等ツールバーが無効となります。

4. Windows の設定

(1) 【参考】IME の設定

IME プロパティを開く→[変換]タブ→[変換文字制限]又は[詳細設定]，「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れます。

